

# 人間科学科

教育基本方針
<p>心理学・哲学・芸術学の知を関連づけながら「人間とは何か」を探求することにより、社会の問題を多角的に捉え、柔軟に解決することのできる人物の育成をめざします。</p>
卒業認定・学位授与の方針
<p>甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。人間科学科の教育基本方針のもと、卒業必要単位数 130 単位以上（基礎共通科目又 18 単位 外国語科目 8 単位 保健体育科目 2 単位 専門教育科目 102 単位以上）を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に、学士（文学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することができ、自らを律し、他者と協調・協働することができます。</li> <li>(2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。</li> <li>(3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。</li> <li>(4) 世界に通用する国際教養力を有しています。</li> <li>(5) 各専門分野（心理学分野、哲学・芸術学分野）において研究、実践、表現等を行う能力を有しています。</li> <li>(6) 自らの考えを適切な手段によって表現し、他者に伝える力を有しています。</li> <li>(7) 的確な問いをたてて、時代性・地域性をふまえて問題解決を図る意志と能力を有しています。</li> </ol>
教育課程編成・実施の方針
<p>文学部人間科学科では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、基礎共通科目、外国語科目、保健体育科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習若しくは実技のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。特に、文学部及び本学科では、①学生一人ひとりの顔が見える少人数クラス、②基礎・応用・発展の積み上げ方式による段階的学修、③研究リテラシー、問題解決能力、専門分野の知識の3本柱による系統的学修の考え方で教育課程を編成し、実施します。</p> <p>また、卒業認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。</p> <p>カリキュラムは、各科目において学生が修得した GPA 及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。</p> <p>教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。</p>
<p><b>1) 教育内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 初年次から2年次にかけての基礎演習を必修とし、基礎的な読解力及び表現力を向上させるとともに、専門分野への導入を行います。</li> <li>(2) 外国語によるコミュニケーション能力や異文化理解について学ぶ科目、心身両面の健康に対する配慮を学ぶ科目、情報リテラシーを学ぶ科目を配置します。</li> <li>(3) 建学の理念、専攻分野以外の領域を含む幅広い基礎的な知識及び異文化理解について学ぶ基礎共通科目を配置します。</li> <li>(4) 少人数のゼミで質問力や問題解決能力などの社会人基礎力を育成しながら、専門分野の研究、実践、表現等の能力を鍛えます。</li> <li>(5) 専攻分野に関する知識及び論理的思考力を習得するため、初年次段階から年次進行に合わせて段階的に高度化する専門科目を体系的に配置します。</li> <li>(6) 各自の天賦の特性と専攻分野に関する知識を社会でどのように生かしていくのかを考えるとともに、社会で活用できる力を身につけるため、キャリア教育並びにキャリア形成支援を1年次から4年次まで継続的に実施します。</li> <li>(7) 地域連携講座科目を通じて、地域の中で自己と他者を総合的に捉える力を養います。</li> <li>(8) 卒業研究（卒業論文）により、在学中に学んだことを集大成します。</li> </ol>
<p><b>2) 教育方法</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1) に掲げた教育内容を身につけるために、講義、演習、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により授業を実施します。</li> <li>(2) 論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観について学ぶために、学生一人ひとりの顔がわかる少人数で学生参加型の実習・演習などを重視したクラス編成を行います。</li> <li>(3) 授業の実施においては、考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどを中心としたアクティブ・ラーニングを積極的に活用します。</li> <li>(4) 成績評価を GPA で表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。</li> </ol>
<p><b>3) 学修成果の評価</b></p> <p>学生の学修成果についての評価方法を各科目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。</p>

カリキュラムマップ											
卒業認定・学位授与の方針(DP)											
(1)	自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することができ、自らを律し、他者と協調・協働することができます。										
(2)	天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。										
(3)	人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。										
(4)	世界に通用する国際教養力を有しています。										
(5)	各専門分野（心理学分野、哲学・芸術学分野）において研究、実践、表現等を行う能力を有しています。										
(6)	自らの考えを適切な手段によって表現し、他者に伝える力を有しています。										
(7)	的確な問いをたてて、時代性・地域性をふまえて問題解決を図る意志と能力を有しています。										
到達目標										対応する卒業認定・学位授与の方針(DP)の番号	
Z	人文科学、自然科学、社会科学などに基づく大局的な視野と倫理的な視点から、専門分野と社会の関わりを考察することができ、自己の健康増進に関する技能を有し、グローバル社会において多様な人々と意思疎通を図ることができる。									(1) (2) (3) (6)	
A	心理学の専門的知見や方法を通じて、個人や社会の問題について学術的に考察できる。									(4) (5)	
B	哲学や思想の文献読解を基盤として、個人や社会の問題について学術的に考察できる。									(4) (5)	
C	表現活動や作品の理解を通じて、個人や社会の問題について学術的に考察できる。									(4) (5)	
D	複数の専門分野の知識や方法の違いを踏まえたうえで、個人や社会の問題について学術的に考察できる。									(3) (4)	
E	専門分野の研究の方法や倫理を身につけて自分の考察したことを適切に表現できる。									(1) (2) (6) (7)	
F	専門分野にとらわれない広い教養に基づいて、個人や社会の問題について学術的に考察できる。									(3) (4)	
G	専門家として求められている知識や技能を身につけ、関連分野の調査・研究・運営に当たることができる。									(5) (6) (7)	
授業科目表（文学部人間科学科）						〔2026年度（令和8年度）の入学生に適用〕					
授業科目名		単位数	配当年次	到達目標							
				Z	A	B	C	D	E	F	G
全学共通科目	基礎共通科目	*	*	○							
	外国語科目	*	*	○							
	保健体育科目	*	*	○							
*単位数、配当年次については、全学共通科目のカリキュラムマップに記載されている各科目を参照のこと 全学共通科目（基礎共通科目 18 単位、外国語科目 8 単位、保健体育科目 2 単位）28 単位											

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標								
				Z	A	B	C	D	E	F	G	
必修科目	人間科学入門	2	1					○				
	人間科学基礎演習Ⅰ	2	1						○			
	人間科学基礎演習Ⅱ	2	2						○			
	人間科学基礎演習Ⅲ	2	2						○			
	演習Ⅰ a	2	3						○			
	演習Ⅰ b	2	3						○			
	演習Ⅱ a	2	4						○			
	演習Ⅱ b	2	4						○			
	卒業研究	8	4						○			
以上 24 単位必修												
専門教育科目	融合科目	融合フォーラム（死生学）	2	1					○			
		融合フォーラム（ジェンダー）	2	2					○			
		融合フォーラム（文化と自然）	2	2					○			
		融合フォーラム（ファンタジー）	2	3・4					○			
		西洋古典文化論	2	1					○			
		西洋人間科学思想入門Ⅰ	2	1					○			
		西洋人間科学思想入門Ⅱ	2	1					○			
		アート・ワークショップ入門	2	1					○			
		心理学と哲学	2	2					○			
		心理学と芸術	2	2					○			
		環境学入門	2	2					○			
		身体論	2	2					○			
		トラウマ学	2	2					○			
		芸術療法	2	3・4					○			
防災心理学	2	3・4					○					
④以上のうち 12 単位以上選択必修												
基礎科目	心理学概論	2	1		○							
	こころの科学	2	1		○							
	発達心理学	2	1		○							
	学習・言語心理学	2	1		○							
	哲学入門	2	1			○						
	倫理学基礎論	2	1			○						
	応用倫理学	2	1			○						
	西洋美術史	2	1				○					
	日本美術史	2	1				○					
	文学思想史	2	1				○					
	欧文講読基礎Ⅰ	2	2					○				
	欧文講読基礎Ⅱ	2	2					○				
	平和学	2	2			○						
	芸術社会史	2	2				○					
	心理学史Ⅰ	2	3		○							
心理学史Ⅱ	2	3		○								
⑤以上のうち 12 単位以上選択必修												

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標								
				Z	A	B	C	D	E	F	G	
専門教育科目	分野共通	欧文講読Ⅰ	2	3・4					○			
		欧文講読Ⅱ	2	3・4					○			
		欧文講読Ⅲ	2	3・4					○			
		欧文講読Ⅳ	2	3・4					○			
		演習Ⅲ a	2	3						○		
		演習Ⅲ b	2	3						○		
	哲学分野	現代思想	2	2			○					
		環境学	2	2			○					
		宗教思想史	2	2			○					
		日本哲学史	2	2			○					
		メディア哲学	2	2			○					
		ヒューマンライツ	2	2			○					
		西洋史概説Ⅰ	2	2			○					
		西洋史概説Ⅱ	2	2			○					
		哲学思想史	2	3			○					
		比較思想史	2	3・4			○					
		人間環境論Ⅰ	2	3			○					
		人間環境論Ⅱ	2	3			○					
		倫理思想史	2	3			○					
	芸術学分野	サウンドスケープ研究	2	1				○				
		視覚メディア論	2	1				○				
		マンガ・アニメ史	2	1				○				
		モダンアート研究	2	2				○				
		映像表現研究	2	2				○				
		サブカルチャー研究	2	2				○				
		芸術表象論	2	2				○				
		アート・ワークショップ実践	2	2				○				
		現代芸術研究	2	3				○				
		身体表現研究	2	3・4				○				
		現代芸術ワークショップ	2	3				○				
		デザイン・ワークショップ入門	2	3				○				
		デザイン・ワークショップ実践	2	3				○				
	言語表現論	2	3・4				○					
	心理学分野	心理学統計法	2	1		○						
		発達臨床心理学	2	1		○						
		心理学実験実習	2	1		○						
		心理療法	2	2		○						
		力動的心理学	2	2		○						
		臨床心理学概論	2	2		○						
		社会・集団・家族心理学	2	2		○						
		心理検査法	2	2		○						
		心理学研究法	2	2		○						
教育・学校心理学		2	2		○							
精神疾患とその治療		2	2		○							
神経・生理心理学		2	2		○							
心理的アセスメント		2	2		○							
心理尺度構成法実習		2	3		○							
心理調査計画法		2	2		○							
心理地域援助		4	3・4		○							
知覚・認知心理学	2	3・4		○								
健康・医療心理学	2	3・4		○								

©以上のうち 32 単位以上選択必修

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標								
				Z	A	B	C	D	E	F	G	
関連科目	日本文学史Ⅱ a	2	2								○	
	日本文学史Ⅱ b	2	2								○	
	NPO/NGO論	2	2								○	
	メディア文化論	2	2								○	
	地域社会論	2	2								○	
	社会心理学	2	2								○	
	社会意識論	2	2								○	
	現代史Ⅰ	2	2								○	
	現代史Ⅱ	2	2								○	
	比較文学特殊講義	2	3								○	
	日本の舞台芸術	2	3								○	
	アメリカ文学思潮史Ⅰ	2	3								○	
	アメリカ文学思潮史Ⅱ	2	3								○	
	イギリス文学思潮史Ⅰ	2	3								○	
	イギリス文学思潮史Ⅱ	2	3								○	
	ソーシャル・キャピタル論	2	3								○	
	西洋史研究Ⅰ	2	3								○	
	西洋史研究Ⅱ	2	3								○	
	横断演習Ⅰ	2	1								○	
	横断演習Ⅱ	2	1								○	
専門教育科目	博物館学芸員資格科目	生涯学習概論	2	1								○
		博物館概論	2	1								○
		博物館教育論	2	1								○
		考古学Ⅰ	2	1								○
		考古学Ⅱ	2	1								○
		歴史と美術	2	2								○
		博物館経営論	2	2								○
		博物館資料論	2	2								○
		博物館実習Ⅰ	1	2								○
		民俗学の諸問題Ⅰ	2	2								○
		民俗学の諸問題Ⅱ	2	2								○
		環境生物学	2	2								○
		生態学	2	2								○
		博物館展示論	2	3								○
		博物館資料保存論	2	3								○
		博物館情報・メディア論	2	3								○
		博物館実習Ⅱ	1	3								○
		博物館実習Ⅲ	1	4								○
		教職科目	IT 応用	2	1							
	政治学入門		2	1								○
	公共社会学		2	2								○
	社会学概論		2	2								○
	文化人類学		2	2								○
	多文化共生論		2	2								○
	メディア研究		2	2								○
	コミュニケーション研究		2	2								○
	政治学原論		2	2								○
	法学概論		2	2								○
	アジア史概説Ⅰ	2	2								○	
アジア史概説Ⅱ	2	2								○		
人文地理	2	2								○		
地誌Ⅰ	2	2								○		
地誌Ⅱ	2	2								○		
日本史概説Ⅰ	2	2								○		
日本史概説Ⅱ	2	2								○		
自然地理学	2	2								○		
専門教育科目 102 単位以上												
											卒業必要単位数 130 単位以上	